

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco ICM サーバ ネーム標準の](#)

[Cisco ICM サーバの型](#)

[ネーム標準の](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、シスコが Cisco Intelligent Contact Management (ICM) サーバの命名に使用する命名規則について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ICM

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM はバージョン 7.0 より先にリリースします

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco ICM サーバ ネーム標準の

注このネーム標準のは必須単にでが、推奨事項です。Cisco ICM サーバおよびアプリケーションの管理およびサポートを簡素化するのに規格名前標準のを使用して下さい。

Cisco ICM サーバの型

Cisco ICM サーバのこの 5 つの型はコア Cisco ICM 製品の一部です:

- ルータ
- Logger
- Peripheral Gateway (PG)
- Administrative Workstation (AW)
- ヒストリカル データ サーバ (HDS)

ネーム標準の

採用されるネーム標準のはシステム 名が 3 つの連結頭字語で構成されることを提案します:

- **geo**: 三文字頭字語 GEO、lcr connecting_GeoTel_ICR 接続のための立場。
- **カスタマーインスタンス名**: 顧客名の頭字語が省略形。このカスタマーインスタンス名は設定される ICM で定義するで、5 文字に制限されます同じ インスタンス。
- **ノードネーム**: 頭字語はノードの種類のために使用されます:ICMコール ルータに関してはノードネーム = rtrICM Logger に関してはノードネーム = lgrICM PG に関してはノードネーム = pgnxn は第 1、2、3.....n ですX つは a または b.です。シンプレックス PG サイトに関しては、PG ありますただ。二重にされた PG サイトに関しては、PG および b PG あります。AW に関しては n が AW 第 1 であるかところ、ノードネーム = 芒 2、3.....n。

たとえば、なぜなら顧客向けにインストールされた十分に冗長 ICM システム Cisco を指名しました:

- 三文字頭字語 **geo** はサーバ名を開始します。
- Cisco のために選択される頭字語は **csc** です。
- 各サーバのための頭字語はシステムの種類に基づいています (上記の ノードネームが表示されて下さい) 。

次に例を示します。

		離れて壊れるサーバ名			
サーバの説明	サーバ名	geo 三文字頭字語	顧客名の省略形	ノードの型	ノードの数
コールルータ A	geocs cortra	geo	csc	rtr	a
コールルータ B	geocs cortrb	geo	csc	rtr	b
Logger A	geocs colgra	geo	csc	lgr	a
Logger B	geocs colgrb	geo	csc	lgr	b
PG1	geocs cpg1	geo	csc	ページ	1a

	a				
PG25	geocs copg2 5a	geo	cscoc	ページ	25a
AW	geocs coaw1	geo	cscoc	AW	1
HDS	geocs cohds 1	geo	cscoc	hds	1

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)